

東京駅
のすぐそばで、
神戸の知を学ぶ。

甲南大学 秋期公開講座・研究会の ご案内 2018

1 秋期公開講座 江戸時代の文書行政と印鑑—「ハンコ社会」その到来と変遷—

講師：東谷 智(甲南大学 文学部 教授)

11月10日(土) 14:00~15:30

懇親会(自由参加)/15:30~16:30

募集人員/35名(先着順) 受講料/1,000円

江戸時代は、百姓や町人を含め、一家に1つハンコを持っており、多くの場面でハンコを捺す「ハンコ社会」でした。本講座では、江戸時代に作成された古文書をもとに、①江戸時代の文書作成の際にどのようにハンコが使われていたのか、②ほぼすべての家でハンコを持つようになったのはなぜか、③明治時代以降、現在に至るまで、ハンコの利用方法がどう変化したか、などについてお話します。

今日、多くの場面でハンコを捺すことがあります。日本の「ハンコ社会」の源流とその変遷をたどってみたいと思います。

[詳しくは裏面をご覧ください→](#)

2 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第35回研究会 スイーツなマーケティング論+にしむら珈琲体験 —神戸にしむら珈琲店のDNAを継ぐセセッション その目指すものは—

講師：吉谷 修作氏
(セセッション代表・株式会社にしむらコーヒーサービス 代表取締役社長)
ファシリテーター・司会：西村 順二氏
(甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長・経営学部 教授)

11月22日(木) 15:30~17:00

懇親会(自由参加)/17:00~18:00

募集人員/35名(先着順) 受講料/1,000円

神戸を代表する珈琲店「神戸にしむら珈琲店」。誰もが一度はにしむら珈琲店でカフェを楽しんだことがあるでしょう。1948年にしむら珈琲店は神戸北野のハンター坂南角にテーブル3つの店舗として開業し、70年にわたり神戸の街を中心に事業展開されてきました。にしむら珈琲店での語らひは、様々な生活シーンでの思い出として根付いています。今回お招きする吉谷修作氏はこのにしむら珈琲店の三代目であり、にしむら珈琲店で提供される菓子製造部門「セセッション コンディトリアテリア」の代表もされています。にしむら珈琲店のDNAを引き継ぐスイーツ店セセッションでは、どの様なスイーツ展開が行われているのでしょうか。本学西村順二教授と対談形式でお話をお聞きし、にしむら珈琲の淹れ方を体験していただきます。

[詳しくは裏面をご覧ください→](#)

3 秋期公開講座 朝食を摂ると仕事の効率がアップする—脳科学からの「朝食」のすすめ—

講師：前田 多章(甲南大学 知能情報学部 准教授)

11月24日(土) 14:00~15:30

懇親会(自由参加)/15:30~16:30

募集人員/35名(先着順) 受講料/1,000円

ヒトの脳は非常にエネルギー食いです。そして、脳は、昼夜を問わず働いているため、寝ている間もブドウ糖を消費しています。そのため、朝起きた時には脳が使えるブドウ糖はほんのわずかです。朝食のことを英語でbreakfastと言います。breakは「破る」、fastは「断食」を意味し、元来、breakfastは「断食破り」を意味しています。つまり夜間に断食をして、朝に食事をとることで「断食を破る」というのが、breakfastの語源なのです。さて、もし、貴方が断食をしていたとしましょう。そして、断食のまま過酷な社会生活、会社の業務をしなければならないとしたら、どうでしょう。とても充分な力を発揮できるものではないでしょう。そこで本講座では、「一日を通して仕事の効率がアップさせるには、朝食が欠かせない」ことを脳科学の観点から解説します。

[詳しくは裏面をご覧ください→](#)

受講のお申込みは、裏面の「受講申込書」をご利用下さい。

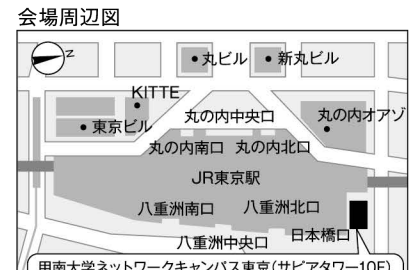
| | | | |
|---|--|---|-------------------------|
| お申込みの講座すべてにチェック☑を入れてください。 | | ☆お申込み受付後、受講料(兼)受講料振込依頼票を郵送にてお送りします。必ずご確認ください。 | |
| <input type="checkbox"/> ①11月10日(土)14:00~15:30 懇親会(自由参加) 15:30~16:30 | | 募集人員/35名(先着順) 受講料 /1,000円 | |
| 秋期公開講座 江戸時代の文書行政と印鑑 ー「ハンコ社会」その到来と変遷ー 講師:東谷 智(甲南大学 文学部 教授) | 私たちは日々多くの書類にハンコを捺しています。時には「100均で買ったハンコを捺すことに意味はあるのだろうか」などと思ってしまうこともあります。これだけ捺印を求められる社会(「ハンコ社会」)はどうやって出来上がったのでしょうか。江戸時代は大量の文書が作成され、文書による行政が高度に展開されていました。文書にはハンコが捺されており、大量のハンコが江戸時代には使われています。 本講座では、江戸時代に成立した「ハンコ社会」について、古文書に見られる捺印の事例をもとにお話します。古文書といういわゆる「くずし字」を読むことを思い浮かべる方も多いと思いますが、古文書が持つ文字以外の情報が非常に豊かです。ハンコの捺し方に加え、紙の折り方や切り方など、文字以外の情報から分かる江戸時代の文書作成の世界へとお誘いします。 | | |
| <input type="checkbox"/> ②11月22日(木)15:30~17:00 懇親会(自由参加) 17:00~18:00 | | 募集人員/35名(先着順) 受講料 /1,000円 | |
| 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第35回研究会 スイーツなマーケティング論 +にしむら珈琲体験 ー神戸にしむら珈琲店のDNAを継ぐ セセッション その目指すものはー 講師:吉谷 修作氏(セセッション代表・株式会社にしむら コーヒーサービス 代表取締役社長) ファシリテーター・司会:西村 順二氏 (甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 所長・経営学部 教授) | 神戸にしむら珈琲店は、神戸を代表する珈琲店です。1948年神戸北野のハンター坂南角にテーブル3つで開業、日本初自家焙煎のコーヒー豆を使ったストレート・コーヒーを提供。70年にわたり「1杯のコーヒーを通じて人を大切に想い、人の幸せを追求し続けたい。それが我々の喜びであり、にしむら珈琲店の永遠の目標である。」(代表取締役会長 吉谷博光)という理念のもと、神戸を中心に事業展開されてきました。このにしむら珈琲の三代目であり、にしむら珈琲菓子製造部門ウィーン菓子「セセッション コンディトリアアテリエ」代表吉谷修作氏をお招きします。にしむら珈琲のDNAを引き継ぐセセッションは、「ケーキ屋ではなく、菓子職人のアトリエ」と位置付けられています。セセッションでは、何を指し、どの様なスイーツ展開が行われているのでしょうか。本学 西村順二教授と対談形式でお話をお聞きし、にしむら珈琲の淹れ方を体験しながら、神戸の風を感じていただければ幸いです。 ヒトの脳は非常なエネルギー食いです。その量は骨格筋の4倍ともいわれ、そのため脳は何時でも大量のブドウ糖を必要としています。そして、ヒトの脳は、昼夜を問わず働いていますので、寝ている間もブドウ糖を消費しています。我々は、夜間に脳が働いているにも関わらず、食事をとりませんから、朝起きた時には脳が使えるブドウ糖はほんのわずかとなっています。 さて、朝食を摂らなかつたどうでしょう。ほんのわずかのブドウ糖で、昼食まで、どうかこうにか食いつながなくてはなりません。これでは午前中のパフォーマンスは十分に発揮できません。そして、空腹で低血糖の状態では、昼食を大量にとったとしても、そのブドウ糖は脳に運ばれづらくなってしまいます。すなわち、一日を通して仕事の効率をアップさせるには、朝食を摂ることが欠かせないのです。 そこで本講座では、「脳が働くためのエネルギー」を解説し、続いて、「朝食と脳の関係、朝食と日中のパフォーマンスの関係」を解説します。 | | |
| <input type="checkbox"/> ③11月24日(土)14:00~15:30 懇親会(自由参加) 15:30~16:30 | | 募集人員/35名(先着順) 受講料 /1,000円 | |
| 秋期公開講座 朝食を摂ると仕事の効率がアップする ー脳科学からの「朝食」のすすめー 講師:前田 多章(甲南大学 知能情報学部 准教授) | ヒトの脳は非常なエネルギー食いです。その量は骨格筋の4倍ともいわれ、そのため脳は何時でも大量のブドウ糖を必要としています。そして、ヒトの脳は、昼夜を問わず働いていますので、寝ている間もブドウ糖を消費しています。我々は、夜間に脳が働いているにも関わらず、食事をとりませんから、朝起きた時には脳が使えるブドウ糖はほんのわずかとなっています。 さて、朝食を摂らなかつたどうでしょう。ほんのわずかのブドウ糖で、昼食まで、どうかこうにか食いつながなくてはなりません。これでは午前中のパフォーマンスは十分に発揮できません。そして、空腹で低血糖の状態では、昼食を大量にとったとしても、そのブドウ糖は脳に運ばれづらくなってしまいます。すなわち、一日を通して仕事の効率をアップさせるには、朝食を摂ることが欠かせないのです。 そこで本講座では、「脳が働くためのエネルギー」を解説し、続いて、「朝食と脳の関係、朝食と日中のパフォーマンスの関係」を解説します。 | | |
| お名前 | フリガナ | 甲南大学、高、中、トウレーヌ卒業生の方は チェックを入れてください。 | |
| ご住所 | 〒 _____ | | |
| 電話番号 | (_____) _____ - _____ | FAX | (_____) _____ - _____ |
| E-mail | _____ @ _____ | | |
| ご勤務先 | _____ | 職名 | _____ |
| 当チラシの入手方法 | ・新聞折込(新聞名 _____) ・書店配布(書店名 _____) ・甲南大学からのDM ・その他(_____) | | |

申込方法

送り先

お申込みは、この受講申込書に必要事項をご記入のうえ FAXまたは郵送にて「甲南大学ネットワークキャンパス東京」あてにお送りください。または、E-mailにて受講申込書の必要事項をご記入のうえお送りください。

・FAXの場合: (03)6266-9522
 ・E-mailの場合: nctokyo@adm.konan-u.ac.jp
 ・郵送の場合: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10F
 甲南大学ネットワークキャンパス東京あて



☆ご記入いただいた個人情報は、甲南大学ネットワークキャンパス東京が管理し、公開講座に関するご連絡・ご案内等に利用させていただきます。この取扱いをご理解のうえお申込みください。